◆新しい敷地の配置計画の提案

■配置イメージ図（東西道路区画、18m×18m=324㎡（100坪））　S=1：250

◆配置計画の考え方

1. 敷地の大きさは100坪を標準として考えました。
2. 建物配置は、陽当たりのよい南側に、庭や菜園を設けることができるように考えました。
3. 道路側には、緑の生垣や並木を植えるように、みんなでルールをつくりましょう。
4. 車は、最低2台を止めることができるように考えました。
5. 物置や納屋をつくるスペースを開けました。
6. 将来、増築ができる余裕を残した建物配置としましょう。

◆標準仕様とコスト

構　法	木造軸組構法（基本グリッド：1.82m×1.82m）
構造材	国産スギ
屋　根	ガルバリウム鋼板瓦棒葺き
外　壁	スギ板張り（通気構造）＋含浸性木材保護塗料
内　壁	石こうボード+水性塗料
床	スギ板張り
設　備	ユニットバス＋キッチンセット
断　熱	床・壁・屋根とも次世代省エネルギー基準をクリア
価　格	設備、仕上げ、地盤の状況などによって異なる

編集：地域計画連合＋チームナイン　　発行：平成24年1月
このリーフレットは、国土交通省の委託による「市街地復興パターン検討」資料から作成しました。

新地町モデル住宅提案

～はじめの一歩計画について～

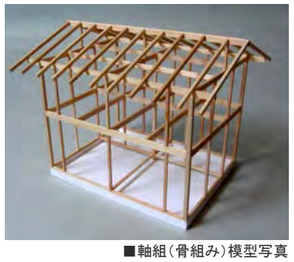
新地町では、被災されて家を失くされた方々ために、再出発のための「新たな家づくり」について提案書をつくりました。
はじめは小さな家でも、いずれ増築して広く住むこともできるような、住み続けられる家づくりを提案しています。

まず、地震に対して丈夫な軸組（骨組み）をつくります。
必要最小限の軸組から、生活に応じて増築ができるように考えます。
その場合も、丈夫な軸組は変わりません。つまり寿命の長い家づくりです。
平屋タイプと２階建てタイプを考えてみました。さまざまな間取りも用意できます。
生活しやすい間取りと、陽当たりのよい健康な家づくりを目指します。

新地町のあたらしい町並みをつくる家です。将来の子供たちに誇れる、美しい町並みを目指したいと思います。
そこで、道路や敷地の環境も整えながら家づくりを考えたいと思います。
それが、新しい敷地の配置計画の提案です。

わたしたちは、みなさまのお役に立てるよう、ご一緒に「はじめの一歩」を踏み出したいと思います。

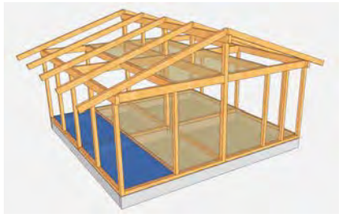
■軸組（骨組み）イメージ写真



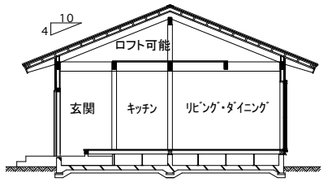
■軸組（骨組み）模型写真

平成24年　新地町企画振興課復興対策室

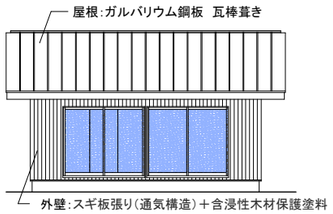
◆平屋の考え方



■平屋　標準モデル見取図



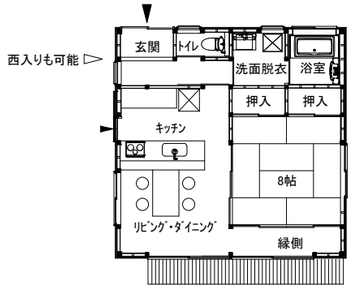
■断面図　S=1:200



■立面図　S=1:200

◆架構(骨組み)の考え方

1. 平屋は基本グリッド(1.82m×1.82m)で構成された正方形の架構を標準としています。
2. 2階建ては、基本グリッド(1.82m×1.82m)　2つで構成された矩形の架構を標準としています。
3. 基本グリッド(1.82m×1.82m)上に柱を配することによって、梁成(部材寸法)を小さくおさえています。
4. 構造を整理し、少ない構造材で丈夫な家をつくることでコスト低減を図っています。
5. 将来の増改築に、対応可能な軸組架構としています。



■平屋　標準モデル平面図(例)　S=1:200

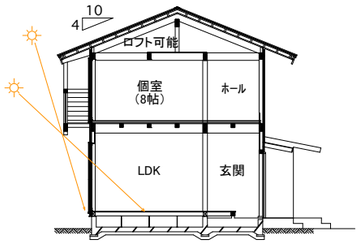
◆新しい配置計画の提案

子供たちに美しい新地の町並みをつくろう！

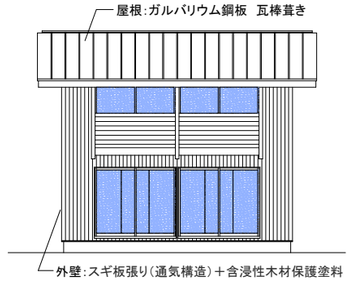
■町並みイメージ図(東西道路区画、18m×18m=324㎡(100坪))

◆2階建ての考え方

■2階建て　標準モデル見取図



■断面図　S=1:200

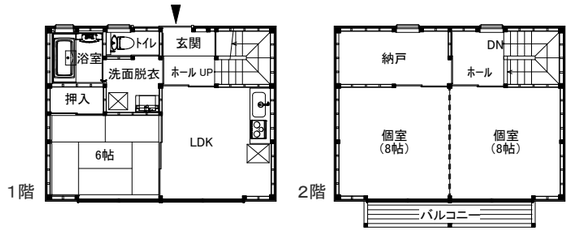


■立面図　S=1:200

◆架構(骨組み)と間取りについて

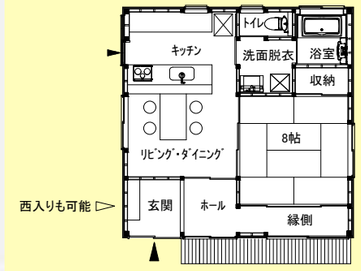
1. 基本グリッド(1.82m×1.82m)の構成をくずさずに、それぞれの事情に合わせて間取りの変更が可能です。
2. 標準モデルプランの架構(骨組み)にオプションで水回りや収納を加えることができます。
3. 図のように、将来的に東西方向に部屋を増築することも可能です。
4. 最初に建てた部分を将来的にも活かし、できるだけ住みながらの増築工事ができるようにしています。

※その他のご要望については、ご相談ください。



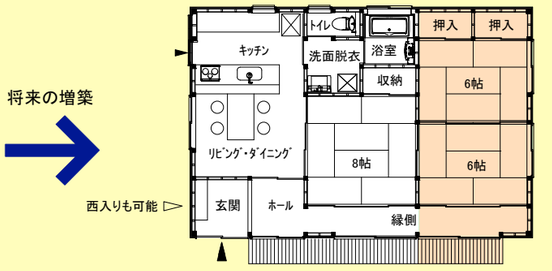
■2階建て　標準モデル平面図(例)　S=1:200

◆間取りのバリエーション

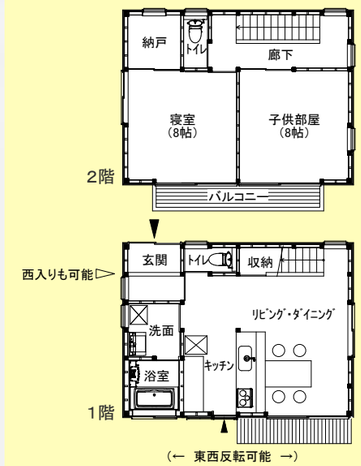


■平屋　間取り事例　S=1:200

将来の増築

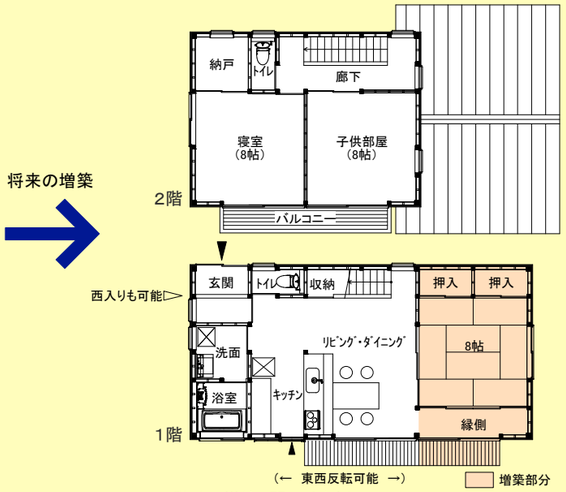


■平屋増築　間取り事例　S=1:200



■2階建て　間取り事例　S=1:200

将来の増築



■2階建て増築　間取り事例　S=1:200